

## 令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

|          |  |
|----------|--|
| P T A名   | 静岡県立浜松みをつくし特別支援学校 P T A  |
| 学 校 名    | 静岡県立浜松みをつくし特別支援学校<br><input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱 |
| 設 置 部    | <input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部                                 |
| 全校児童・生徒数 | 小学部 83人   中学部 55人   高等部 68人   計199人  |

### 1. 使用状況

|               |   |
|---------------|---|
| 寄贈物品名         | 電子式ジグザクミシン  |
| 使用学年及び人数      | 高等部1、2年 7人   中学部7人  |
| 使用頻度          | 2回/週   ※作業販売会前には5回/週  |
| 使用状況          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の授業で行われている、作業学習(自主生産作業:縫製班)、週に2回程度使用している。</li> <li>・縫製班では、寄贈していただいたミシンを使用して、地域での作業製品販売会に向けて、トートバッグ、巾着袋、ランチョンマット、箸袋などの製品作りに取り組んだ。今後も地域での作業製品販売会に向けて、製品作りに取り組んでいく。</li> </ul> |
| 物品の使用による変化や効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンを寄贈していただいたことで、ミシン担当の生徒一人につき一台のミシンを使用することができ、責任感を持ってミシンを使用したり、製作速度が向上したりしている。</li> </ul>  |
| 今後の活用の見通しや課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・より細かなミシン縫いや、ミシンの機能を活用した製品作りに取り組みたい。例えば、布の縫い代の始末やファスナー付け等に取り組みたい。</li> </ul>   |
| その他希望や所感など    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄贈していただいた電子式ジグザクミシンの価値や、使用方法を再度伝え、機能を十分に活用して作業学習に取り組みたい。</li> </ul>   |

## 2. 活用の様子

パッチワークの作業をしています。押さえがしっかりしているので、布がずれることなく、正確に縫うことができます。



足踏みペダルを使用することで、両手でしっかりと布を押さえ縫うことができます。厚い布も印通りに縫うことができ



返し縫いのボタンが大きく、糸の処理がしやすいです。手元がとても明るいので、縫う位置をしっかりと確認しながら返し縫いをすることができます。



### 【生徒の感想】

#### 電子式ジグザクミシンを使ってみて！

～ミシンで製品を作った感想～

ミシンの良いところは、綿こそって縫うことができるところと、きれいなトートバックや巾着袋が作れ、やく丈夫にできることです。ミシンを使うことで、さまざまな製品がたたくことができました。

～これから使ってみてほしいミシンの機能、作ってほしい製品～

木製木箱を選択し、ハンカチを作ってみたり、糸遣い方を変えて、ぼうしを作ってみたりです。また、糸言調子を合わせ、より良い製品作りを目指して、いきたいです。

#### 電子式ジグザクミシンを使ってみて！

～ミシンで製品を作った感想～

ミシンで製品を作ってみて、布と布を縫うときにずれずに刺繍されたのが良かったです。ぬい目がきれいでいたのが良かったです。ミシンを使って製品を作ることのできる見えない通りのフスマボウチや、はし袋を作ることができました。

～これから使ってみてほしいミシンの機能、作ってほしい製品～

使ってみてほしいミシンの機能は、ジグザク縫い機能です。スピードが速くてきれいに刺繍できるようにがんばりたいです。作ってほしい製品は、筆箱、マフカパー、水筒カバーなどです。